

宇都宮大学農学部農業経済学科 3 年
黒磯ロータリークラブ
蘇呈歡

皆さん、こんにちは。私は、宇都宮大学農学部農業経済学科 3 年の蘇呈歡（ソテイカン）と申します。マレーシアから参りました。今、黒磯ロータリークラブにお世話になっております。

私の出身地は、マレーシアのジョホール州の中部、Simpang Renggam（シンバンレンガム）という小さい町です。小さい町ですが、ここはマレーシアの最も大きいパイナップルの生産地です。生産されたパイナップルは国内に供給以外、海外に輸出あるいは缶詰めにも加工されております。小さい頃から、よくパイナップルを食べました。今まで最も多く食べた果物は絶対パイナップルに違いないです。

1980 年代、マレーシアのマハティール首相はルーク・イースト政策を提唱しました。その時から、日本へ留学に来る学生が多くなりました。そして国民も日本は一つ効率が
あり、技術や経済力を持つ強国だと思っております。親戚の中、三人の叔父さんは 80 年代、90 年代に日本に留学しました。叔父さんたちから日本の文化や日本人の勤勉さを聞いて私は知識以外、そういう文化も勉強したいと思い、日本へ留学に来ました。

日本に来てから、もう 4 年半経ちました。日本語の勉強、大学の受験、アルバイトなど様々なことを経験しました。そういう経験や日本人との交流から日本人の文化を実際に体験しました。その中には一つあまり理解できない、矛盾ではないかと思うことがあります。日本の礼儀とサービスはよく世界中に褒められます。だが、なぜお客さんは店の店員に対して、礼儀がないのかよく理解できません。確かに、お客さんは神様だと言われています。お客さんに何をされても我慢しかありません。だが、私、礼儀は単純に一方的なものではなく、礼儀は相互的なものでもありと考へております。店員に対して基本的な尊重が必要だと思っております。

私は今大学三年生、農業経済学科に所属して農業の視点から世の中経済のことを勉強しています。農業は一般的に大変、儲からないという印象があります。近年、農業の六次産業化という言葉がよく耳にします。六次産業化とは一次産業×二次産業×三次産業のことです。これは二次産業と三次産業を通して農産品の付加価値を増やす考え方で
す。私は六次産業化に深い興味があります。これから、農業六次産業化の失敗について研究していきたいと思っております。なぜ成功でなく、失敗ですか。みなさんきっとそういう疑問を持っています。企業の成功はそれぞれがありますが、失敗はだいたい似たような原因があると言われて
います。なので、もしそれが本当の話だったら、私はこの研究を通じて農業六次産業化の失敗原因をまとめて参考価値がある卒業論文を書きたいです。こういう研究ができるかどうかまだ指導先生との相談次第です。

学問の勉強以外、国際社会や時事にも興味があります。例えば、TPP、バイオテクノロジー、ビッグデータ、イギリスの脱 EU などのことです。私は時事と時勢把握が非常に大事なことだと思っております。勉強の方面で役に立つ以外、仕事の方面でも役に立つと

信じております。身近な例を言うと、TPPの参加です。日本がTPPに参加してどういう影響をもたらしたかを理解し、そして、これからの時代に応じて自分を調整することができます。そうしないと、時代の流れで淘汰されてしまうかもしれません。

ロータリー奨学生になってから、ロータリアンの皆さん、そして奨学生の皆さんと交流することによって自分の世界観や視野を広げることができました。さらに、ロータリークラブの活動でいろんなことを体験することができ、非常に勉強になりました。将来、奉仕活動に活躍して行きたいです。特に、教育の方面です。なぜかという、教育が根本から社会を変える有力な方法だと考えております。今後もよろしくお願い致します。

以上です。ご清聴ありがとうございました。